

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・美術 I	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科 第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い創造活動を通して、創ることの喜びを知り、意欲的に制作する態度を養う。 美しさを探求する態度を養い、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 鑑賞する能力を身につけ、美術文化についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の美術1(日本文教出版) 実技用具など

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現することができる。	授業態度など	10%
b. 発想や構想の能力	多様な表現様式を理解し、構想を練ることができる。	制作作品など	30%
c. 創造的な技能	工夫して(意図に応じて)材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	日本及び諸外国の美術文化についての理解を深め、美術作品の美しさや特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうなどすることができるなど。	観賞態度など	30%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	8	陶芸実習 I	焼き物の技法と表現の基礎を学ぶ ・手練り、紐造り ・粘土の性質、釉薬の性質 ・用具の扱い方	○	○	○	
	5	4	鑑賞 (美術史)	西洋の美術について学ぶ ・ルネサンスを中心とした美術について	○			○
	5~7	16	油彩実習 I	油絵の素材への理解と技法及び表現について学ぶ ・名画の模写をすることで絵画の魅力を探る ・油絵の特性や道具の扱いについて	○		○	○
	8~9	8	陶芸実習 II	焼き物の技法と表現の基礎を学ぶ ・粘土の性質、釉薬の性質 ・用具の扱い方	○	○	○	
後期	10~12	20	油彩実習 II (鑑賞を含む)	油絵の色彩表現及び質感表現について学ぶ ・絵具の混色・塗り方について ・質感表現について	○		○	○
	1~3	14	染織実習	染物の技法と表現の基礎を学ぶ ・たまねぎ染め ・媒染液の性質 ・用具の扱い方	○	○	○	